



本日の
プログラム

新会員卓話 奥村 敦史 会員

札幌商工会議所SDGs経営表彰について 札幌商工会議所 会員組織部部長 田邊 敦 氏

札幌商工会議所「SDGs経営表彰」は、令和元年11月に「札幌商工会議所SDGs推進特別委員会」が新たに設置されたことから始まります。活動目的は①会員企業へのSDGs普及促進、②SDGsの理解と行政・企業等の取組事例の情報収集、③SDGsを通じた企業価値の向上、地域価値の向上、としております。事業内容としては会員向けアンケートや専用ホームページの開設、SDGsバッジの頒布などがあり、そのひとつに経営表彰があります。札幌市役所の“Mr. SDGs”佐竹係長や、SDGs診断システムを開発されたTREEの水野社長といった方々に相談しながら準備を進め、昨年10月から募集を開始。エントリー47社、うち総合賞11社のほか4部門の部門賞31社を選考しました。受賞企業は札幌商工会議所月刊誌「さっぽろ経済」で紹介し、講演会の講師や高校の授業で協力いただいております。

現在、就職活動をする際に、企業がどの様なSDGsの取り組みをしているのか、学生から質問されるケースもあると伺っております。SDGsの取り組みを広く周知することが出来れば、人材の確保にも繋がると考えられます。

札幌商工会議所は、「SDGs経営表彰」を通じて、“SDGsの普及”はもちろんの事、“会員企業の企業価値(イメージ)の向上”に向け、色々な場面で企業露出を図り、側面的に支援をして参ります。次回「SDGs経営表彰」は、令和5年度の実施を予定しております。エントリーをお待ちしております。



札幌商工会議所SDGs経営表彰 気候変動アクション部門受賞の取組 宮本 典英 会員

当社「北海道オリンピア株式会社」は、令和3年度SDGs経営表彰気候変動アクション部門を受賞いたしました。当クラブ会員でも受賞している先輩が多数いらっしゃるにもかかわらず最初の発表で恐縮しております。

当社が特に取り組んでいる項目は、「4. 質の高い教育をみんなに 5. ジェンダー平等を実現しよう 6. 安全な水とトイレを世界中に 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに 9. 産業と技術革新の基盤を作ろう 11. 住み続けられるまちづくりを 12. つくる責任 つかう責任 13. 気候変動に具体的な対策を」です。今回は、部門賞でしたので、7番、11番、12番、13番への取り組みが評価されたと思います。中でもまずは、廃食油の回収、再処理をしてボイラーや温風機の燃料としての供給とその燃焼機の開発と製造販売です。廃食油は燃焼機の燃料としては、着火温度が高く燃焼速度も遅い為、扱いにくい燃料でしたが比較的小型の機器で運用できる燃焼機を開発しています。その供給先には、温泉施設のボイラーや施設園芸(ビニルハウスなど)の暖房機などに供給をしております。特に施設園芸では、植物から作る油で食品をつくり、さらに食物をつくる為に利用することで、完全循環利用をしております。昨今の燃料高騰・入手の困難化を見据えたわけではありませんが、化石燃料を代替えし脱炭素の活動となりました。

次に、6番・11番の取り組みとして水の循環ろ過装置の販売メンテナンス、食塩水の電気分解から次亜塩素酸水を生成する装置の普及拡販です。薬品を使わない浄化除菌装置で安心安全な水を作ります。スーパー銭湯や温水プールで採用されています。

4番、5番への取り組みとしては、社員の資格取得の支援として、取得費用の支援や技術向上のための社内研修の実施・女性社員の総合職での採用を実施しています。石狩事業所では性別を問わず廃食油の積み下ろし、精製作業に従事しております。重量物の取り扱いとなりますので、負担軽減のための設備も導入しております。

今後の取り組みとして、脱炭素社会の実現の為に、グリーン水素バーナーの研究・開発・製品化とクリーンエネルギー活用で、地域に雇用と活力を創出していきたいと考えております。

